

令和4年度龍郷町水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本町では、サトウキビを中心に、タンカン、パッションフルーツ、マンゴー、スモモなどの果樹、水稻、野菜などの作付が行われている。

課題としては、地域経済が伝統産業の大島紬並びに公共事業により発展してきたこともあり、農業資本の蓄積が乏しいことである。また、農業従事者の高齢化が急速に進み、農家戸数、農業就業人口ともに減少傾向であることや、奄美群島は台風常襲地域となっていることから、自然災害の影響を受けやすいことなどが挙げられる。

2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

本町では、農家の高齢化等により休耕田が増加していたが、高収益作物であるマコモの需要が高まり、マコモ生産組合の設立により組織化による共同販売をめざし、省力化や収益性向上等を図る。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

マコモの需要は年々増加しているが、地区の担い手が不足しており、植付けされている圃場周辺にも休耕田が存在する。用排水路は主な主要道路にのみ整備されている状況である。当地域は、奄美群島でも唯一の稲作地区となっており、将来的にもこのまま水田を有効活用していくために、担い手の確保やほ場の管理を生産組合を主体に継続して行っていく必要がある。

また、水稻を5年以上作付けせず、野菜等の畑作物を生産している水田については、所有者の意向調査を行い、畑地化に向けた取組を推進する。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

需要に応じた生産ができるように作付する。

(2) 非主食用米（加工用米）

平成30年より、休耕田解消や地域活性化を図るため、集落営農が地元の酒造会社と5年契約を交わし、集落営農により黒糖焼酎用加工用米の生産に取り組んでいたが、契約を更新せず。農家から焼酎会社が加工用米を買い取るという取組は今年度はないが、一部酒造会社が加工用米を生産している。

(3) 高収益作物

水田の地域振興作物として生産される園芸作物のマコモを重点品目として支援する。特産品としての需要を拡大しつつあり、生産性向上に向けて栽培暦の作成や、産地形成にむけた環境整備調査をおこなっていく。

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の 作付予定面積等		令和5年度の 作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	2.32		2.32		2.32	
備蓄米						
飼料用米						
米粉用米						
新市場開拓用米						
WCS用稲						
加工用米	0.24		0.00		0.25	
麦						
大豆						
飼料作物						
・子実用とうもろこし						
そば						
なたね						
地力増進作物						
高収益作物	4.21		4.5		5.0	
・野菜	4.21		4.5		5.0	
・花き・花木						
・果樹						
・その他の高収益作物						
その他						
畑地化						

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標		
				前年度（実績）	目標値
1	マコモ	マコモ作付助成 （基幹）	作付面積	（令和3年度） 4.21ha	（令和5年度） 5.00ha

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:鹿児島県

協議会名:龍郷町

整理番号	使途 ※1	作 期 等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	マコモ作付助成(基幹)	1	7,900	マコモ	作付面積に応じて支援